

新たな教育振興計画の設計図(案)

資料2

はじめに(舞台としての相模原)

下線部は、策定委の意見を踏まえて追加修正

教育を取り巻く現状と課題

社会の変化

人生100年時代や超スマート社会の到来、家庭環境の変化、子どもの貧困、地域コミュニティの希薄化、グローバル化の進展とSDGs

教育に関する今日的な課題

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、自己肯定感等の育成、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実、教員の長時間勤務の解消、公共施設の老朽化対策、生涯学習のきっかけづくりや社会教育に携わる多様な担い手の育成 等

基本理念

本市における学びが一人ひとりの人生の拠り所となり、この学びを通して誰もが幸福な人生の創り手となることができるよう、目指す人間像を次のとおり設定

相模原市の教育が目指す人間像

(仮)個性や能力を磨き 共に支え合い ^{いま} 現在と未来を創る人

前回の「夢や自信を持ち」という自立のフレーズは、「共生」と対立概念になり得るため注意が必要

個性・能力を磨き
夢や目標に向かって
力強く豊かな人生を生きる人

多様性を尊重し
他者を思いやり
共に支え 高め合う人

感性を豊かに働かせ
広く想像し 深く思考し
新たな価値を生み出す人

教育施策の展開に向けた基本的な考え方

基本フレーム

- 1 縦の接続 生涯を見通した学びの環境づくり
- 2 横の連携 教育に対する社会全体の連携
- 3 環境の充実 多様な学びを支える環境の充実

基本姿勢

- 一人ひとりの可能性とチャンスの最大化
- 1 温かさと先進性のある教育施策
 - 2 教育資源の効果的な配分

基本目標

- 1 生涯にわたる学びの推進
- 2 オール相模原で取り組む地域教育力の向上
- 3 多様な学びを支える環境の充実

基本方針